

やまなし森林・林業振興ビジョンの進行管理について

県では、本県森林・林業・木材産業等を取り巻く情勢に、木材需要の拡大につながる大きな変化が現われてきたことから、こうした変化を好機ととらえ、森林資源の更なる利活用の推進に向け、平成27年12月に「やまなし森林・林業振興ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、「材」、「エネルギー」、「場」の3つのキーワードごとに基本方針、施策の展開方向を明確にし、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化と地域の活性化を目指すこととしたところです。

また、ビジョンの実効性を確保するため、基本方針ごとにそれぞれ数値目標（合計10項目）を掲げ、毎年度、目標実現に向けた施策の進捗状況や効果等について点検、評価を行うこととしています。

本ビジョンの目標年次は平成36年度としており、初年度平成27年度末時点における進捗状況は、次のとおりです。

○ 目標の達成状況

各項目の達成状況を関連キーワードごとに集計した結果は、下表のとおりです。

関連キーワード	目標名	H27	
		達成	未達成
材	1 森林整備の実施面積（年間）	○	
	2 木材生産量（年間）	○	
	3 林内路網の整備延長（累計）	○	
	4 林業への新規就業者数（年間）		○
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数	○	
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量		○
	7 ペレットストーブ導入台数（累計）	○	
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数	○	
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数（累計）	○	
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数	○	
計		8項目	2項目

全10項目のうち、目標を達成した項目は8項目となりました。

なお、進捗状況が「未達成」であった項目のうち「林業への新規就業者数（年間）」については、一部で就労条件等が折り合わず雇用には至らなかった事例などがあったものの、就業希望者と林業事業体との面接会や技術講習会等には多数の参加があったこと、また、「木質バイオマスのエネルギー利用量」については、一部の施設において設備稼働状況が低調であったものの、木質バイオマス利用施設の整備やペレットストーブの導入に伴い増加傾向にあることから、両項目とも一定の成果があったものと考えます。

【やまなし森林・林業振興ビジョン】数値目標の状況について（平成27年度末）

関連キーワード	目標数値	基準値(H26)	目標値(H36)	前年度まで累計値	H27年度			進捗状況(目標の達成)	進捗状況や効果等に係るコメント	今後の対応	担当課
					目標値	実行値	累計実行値				
材	1 森林整備の実施面積(年間)	4,685ha/年	※1 6,000ha/年	—	6,000ha/年	6,966ha	—	達成	県内全域において、木材生産機能や水源かん養機能等の森林の多面的機能を維持・増進するための森林整備を概ね計画どおり実施することができた。	森林環境税事業の第2期計画の着実な実施や森林整備に必要な予算の確保に向けた国に対する要望活動などを行いながら、引き続き、森林の持つ多面的機能の維持・増進を図るための森林整備を推進していく。	森林整備課
	2 木材生産量(年間)	156千m3/年	335千m3/年	—	187千m3/年	202千m3/年	—	達成	県産材の需要拡大を進める中、H27年度の木材生産量を精査した結果、主にチップ用材が増加。目標値に対し、約8%増しの実行値となった。	公共建築物等の木造・木質化の促進やCLT工法等新技術の導入を進めるとともに、木材加工施設等の整備への支援などにより、県産材の需要拡大を図っていく。	林業振興課
	3 林内路網の整備延長(累計)	4,483km	4,766km	4,483km	累計4,507km	38km	4,521km	達成	目標を上回る整備を行っており、効率的な森林施業や木材搬出コストの低減などの効果が見込める。	高性能林業機械を活用した作業システムに対応した林道・森林作業道を適切に組み合わせ、林内路網整備を計画的に進める。	治山林道課
	4 林業への新規就業者数(年間)	※2 54人/年	54人/年	—	54人/年	45人/年	—	未達成	山梨県林業労働センターと協働して、就業希望者に対する求人情報の提供、林業事業者との面接会や技術講習会等を実施し、多数の参加があったものの、就労条件等が折り合わず、雇用には至らなかった事例などが見受けられた。	引き続き林業労働センター等関係機関と連携し、今後も林業の仕事の具体的な内容や魅力などを周知し、更なる就業促進を図っていく。	林業振興課
エネルギー	5 木質バイオマス利用施設数(累計)	23施設	33施設	23施設	累計24施設	2施設	25施設	達成	木質バイオマス利用施設の整備や供給体制の強化に向けた指導・助言を行った結果、目標値(1施設)を上回る実行値(2施設)となった。	今後も木質バイオマス利用施設の整備が順調に進むよう引き続き支援していく。	林業振興課
	6 木質バイオマスのエネルギー利用量(年間)	18千m3/年	84千m3/年	—	25千m3/年	21千m3/年	—	未達成	木質バイオマス利用施設の整備やペレットストーブの導入に伴い増加傾向にあるものの、一部の木質バイオマス利用施設において設備稼働状況が低調であったため、目標値に対し84%の実行値となった。	木質バイオマス利用施設の整備を支援するとともに、木質バイオマスの安定供給体制を確立し、木質バイオマスのエネルギー利用量の拡大を図る。	林業振興課
	7 ペレットストーブ導入台数(累計)	488台	1,000台	488台	累計539台	145台	633台	達成	普及啓発イベントやペレットストーブ等を設置する個人に対し支援を実施した結果、目標値に対し、約17%増しの累計実行値となった。	今後もペレットストーブの導入が順調に進むよう引き続き普及啓発に努めていく。	林業振興課
場	8 自然を目的として本県を訪れる観光客数(年間)	5,425千人/年	5,788千人/年	—	5,498千人/年	6,402千人/年	—	達成	観光・レクリエーションの場として、県有林の活用を進める中、自然を目的とした観光客数が目標を上回った。	森林スポット100選のPRや、企業・団体に森林レクリエーション利用の場を提供する「やまなし森林プロデュース事業」を実施し、県有林の場としての利用を促進していく。	県有林課
	9 特用林産物生産への新たな取り組み件数(累計)	2件	20件	2件	累計4件	2件	4件	達成	新たな品種の栽培方法等の研修会や栽培方法の指導を行った結果、新規参入件数1件、新たな品種の取組件数1件、計2件の目標値を達成することができた。	引き続き、特用林産物の生産者を対象に新たな品種や栽培方法の導入についての研修や栽培指導を行うことにより、新規参入件数や新たな品種への取組件数の増加を図る。	林業振興課
	10 山地災害危険地区の新規整備着手箇所数(年間)	15箇所	15箇所	—	15箇所	16箇所	—	達成	目標を上回るペースで未着手の山地災害危険地区において治山事業を実施しており、要配慮者利用施設周辺等の事前防災・減災対策が着実に推進されている。	今年度、見直した山地災害危険地区の調査結果に基づき、計画的に治山事業を実施し、危険箇所の整備に努める。	治山林道課

※1 H27～H36の年平均

※2 H24～H26の平均

※3 目標の項目番号3・5・7・9については、当年度までの累計で達成状況を評価。その他の項目については、単年度実行値で達成状況を評価。